

本年度の結果

	国語
阿蘇市	68
全国	69.8

領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
阿蘇市	67.2	59.5	74.4	80.2	58.9	64.6
全国	67.5	63.4	74.7	82.2	63.2	63.7
観点別	知識・技能	思考・判断・表現				
阿蘇市	68.1	68.5				
全国	69.4	69.7				

本年度の主な結果について

- 領域別にみると、「読むこと」については、全国を上回っている。
- 「情報の扱い方に関する事項」に課題があり、意見と根拠など情報と情報との関係や具体と抽象など情報と情報との関係について理解することに課題がある。
- 「話すこと・聞くこと」については、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることに課題がある。
- 「書くこと」については、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 目的や場面に応じて質問する内容を検討することはできている。(1ー)
- 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることはできている。(1四)
- 事象や行為、心情を表す語句について理解することはできている。(2ー)

【課題】

言葉の特徴や使い方に関する事項

- 文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。(おし量って)(3二)

情報の扱い方に関する事項

- 情報と情報との関係について理解することに課題がある。(1二、3三)

我が国の言語文化に関する事項

- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことはできているが、全国よりも低い。(いひける)(4ー)

話すこと・聞くこと

- 話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することに課題がある。(1三)

書くこと

- 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることに課題がある。(3ー)

読むこと

- 観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることに課題がある。(2二)
- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。(4三)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いているか」については、全国を上回っており、改善が見られる。

【課題】

- 「国語の勉強が好き」「授業の内容が分かる」については、全国を下回っている。
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか」については、全国を下回っている。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- PPDCAサイクルによる課題探究型学習を進め、課題設定一見通し一解決する一まとめ一振り返りの学びを構築する。さらに、アウトプットを重視した授業づくりを進め、知識の構造化を図る。
- 「情報の扱い方に関する事項」の指導に当たっては、「原因と結果」、「意見と根拠」、「具体と抽象」などの基本的な情報と情報との関係について理解し、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面で活用できるようにする。
- 「書くこと」の指導に当たっては、自分の考えが伝わる文章を書くためには、伝えたい自分の考えと、考えを支える根拠を文章の中に記述することができるようにする。

【日常的な取組】

- 日常的に言葉による見方・考え方を働かせるとともに、言語感覚を養い、自分なりのものの見方や考えを形成する場を設ける。また、速音読や読書、新聞を読む習慣を養う。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を出し、予習・復習の内容の充実を図る。